

核兵器のない公正な世界の実現を！

東京原水協署名推進ニュース No.5

2019年8月16日 発行
原水爆禁止東京協議会
TEL 03-5395-4222
Fax 03-5395-4220
Mail:Tokyo-gensuikyoku@aurora.
ocn.ne.jp

核兵器廃絶、非核の日本を 世界大会の感動を力に

625212人分(8/5)の署名をさらに積み上げよう！

残暑お見舞い申し上げます。

今年の夏も猛暑の連日でした。7月の参議院選挙では、安倍改憲ノー、戦争法廃止、沖縄辺野古新基地建設中止などの共通政策で、全国32の一人区で野党共闘が実現し、改憲に必要な三分の二を食い止めました。8月3日から広島・長崎で行われた原水爆世界大会は、参加者は前年より減りましたが、被爆者の願いを世界に発信し、日本政府に核兵器禁止の調印・批准を求める熱意にみんなが確信できた素晴らしい大会ではなかったでしょうか。

参加された皆さん、お忙しい中、本当にお疲れ様でした。大会に参加しての感想など、団体や地域での報告集や報告会で大勢の方に広げて下さい。東京原水協にもお寄せ下さい。皆さんのお力を秋の取り組みにもぜひ発揮して下さい。代表派遣に奮闘された皆さんにも熱くお礼を申し上げます。世界大会開会総会壇上では、各県が「ヒバクシャ国際署名」数を記入したプラスターを掲げ、アピールしました。東京は**625212人**(8月5日)です。目標は100万、2020年4月のNPTまで、頑張りましょう。「なくそう核兵器 2020年あなたの署名をニューヨークへ」の返信用はがきのついたミニパンフもできました。6・9宣伝などで活用しましょう。1枚3円(送料実費)で販売しています。世界大会 in ニューヨークの成功のための募金(目標は35万円)もお願いします。募金袋ご希望の方は注文してください。

秋の取り組み、ちひろカレンダーの販売も始まります。いわさきちひろが作品に込めた「核兵器も戦争もない平和」の思い、一日も早い実現に、「生きているうちに核兵器廃絶を」という被爆者の願いにこたえるために頑張りましょう。

練馬原水協は、7月9日練馬駅の宣伝に23人参加、有原監督が核兵器禁止条約2周年を受けて作成したチラシをポケットティッシュに入れて配布、24筆集めました。さらに13・14日の両日、「ひばくしゃの声を引き継ぐ映画祭」で、署名コーナーを設け99筆集めました。参加者の中で、実家がお寺の方がいて電話で父親に署名の話をしたら、説法の中にその話をしてくれると言うので署名用紙を沢山持って帰った人もいました。

多摩原水協は2019多摩市内平和行進に70人参加しました。参議院選挙終了後の24日、参議院では与党が三分の二を割り込んだため、憲法改定の危機は一応大きく後退した中での平和行進、元気よく核兵器なくせ、日本も核兵器禁止条約に加われの声をあげました。7月6日に永山駅で行われた6・9行動には、参加者4人で、ヒバクシャ署名16筆、9条署名15筆、カンパ110円が寄せられました。9日は聖蹟桜ヶ丘で予定していましたが、雨のため中止でした。

7.28 東京都原爆犠牲者追悼のつどい

葛飾区青戸平和公園で原爆被害者追悼のつどいが行われ、東京原水協から、柴田代表理事をはじめ11人が参加しました。参加者全員で黙祷により哀悼の意を表し、代表が献花をしました。公園の噴水がある池で、小さな子どもたちが水の中に入り歓声を上げながら遊び、大人たちが見守る姿を見て、「平和ってこんな時、こんな日常のことなんだなあ」としみじみ感じました。午後1時30分から会場を葛飾テクノプラザに移して、厳かな雰囲気での式典が小池都知事をはじめ、たくさんの来賓の参列の下、行われました。式典の終了後、今年初めての企画である交流会が別室で行われました。多くの被爆者は辛すぎて体験を語りたがることができずにいること、死ぬまで苦しみながらも、「語りつがなくては」と強い思いがあることなどがわかり、新ためて核兵器廃絶への強い思いです。